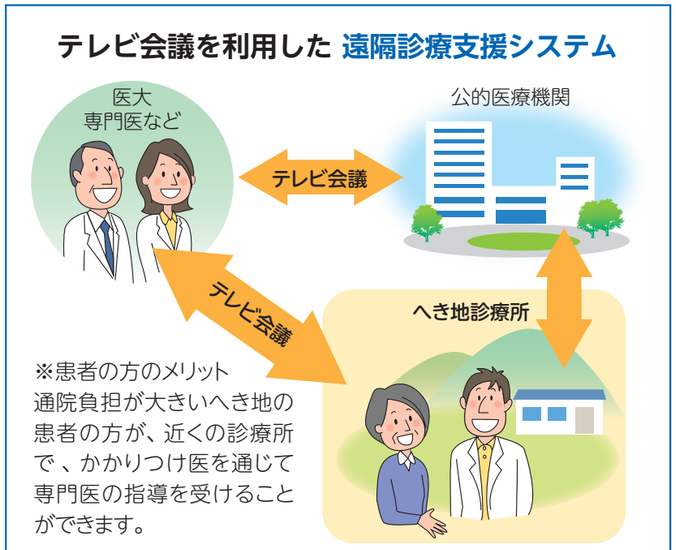
遠隔診療支援システム

医師確保が難しい山間部での診療支援を広げる取組として「テレビ会議を利用した遠隔診療支援システム」を導入し、へき地診療所への診療支援を行っています。

平成26年7月から、県立医科大学附属病院と13公的医療機関において、テレビ会議システムを活用した遠隔カンファレンスを開始する体制を構築しました。

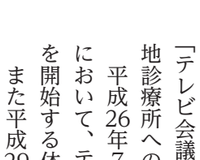
また平成29年度からは、へき地診療所へテレビ会議システムを導入し、専門医などが助言を行い、診察を支援しています。

こうした診療支援は、へき地で勤務する若手医師のキャリア形成支援や地域住民の方が安心できる医療提供体制の充実へとつながります。



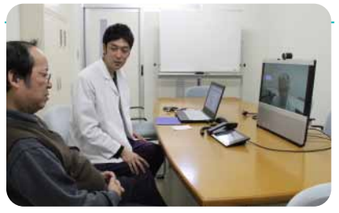
インタビュー

北山村診療所　多田明良医師



この村には医師が一人なので、総合的に診察しなくてはいけません。緊急疾患の場合はすぐに大きな病院に紹介する必要がありますが、慢性疾患の場合はそのタイミングや判断が難しくなり、紹介する場合でも交通手段がないといった患者さんもいます。紹介先の病院での診察経過や患者の症状は診療情報提供書での判断となり、全てを把握するのは難しくなります。

遠隔診療支援システムでは、患者さんと一緒に専門的な助言や具体的な指導を受けます。どんな診察を行っているかを把握することができ、今後の治療に役立てることができます。



普段診察を受けることが難しい専門医の方に診てもらうことは、患者さんの安心につながり、同時に専門的な知識を学ぶことで自分にとっても勉強となります。

看護職員の育成と確保

模型演習を行う看護学生

※看護職員…保健師・助産師・看護師・准看護師

看護職員の状況

少子化や高齢化の進行、疾病構造の変化、在宅医療のニーズの増大、さらに医療の高度化・多様化などにより、医療に対するニーズが拡大しており、看護職員は不足している状況です。

第七次看護職員需給見通し(H27)	看護職員数(H28従事者届)
需要数	
14,611人	12,803人

看護職員確保の取組

県では、養成力確保・離職防止・就業促進・資質向上を4本柱に、安全・安心で質の高い看護に対応できる看護職員の確保対策に取り組んでいます。

●養成力確保

看護職をめざす学生の確保と教育環境の充実を図る取組として、県立看護師等養成所の運営や、修学資金の貸与を行っています。看護業務を体験できる「ふれあい看護体験」を実施しています。

●離職防止

働きやすい環境づくりや離職防止につなげる取組として、院内保育所の設置促進や多様な勤務形態で働けるようワーク・ライフ・バランスの推進を図っています。

●就業促進

県内就業・再就業を支援する取組として、県ナースセンターを設置し、就職説明会の開催や復職支援を行っています。

●資質向上

質の高い看護職員の育成をめざす取組として、新人看護師研修や看護管理者研修を行い、スキルアップとモチベーションアップを図っています。

和歌山県ナースセンター(和歌山県看護協会)

所在地:海南市南赤坂17　☎073-483-0234

就業・再就業を希望する方に情報の提供や、相談対応をしています。
また再就職に際し、知識や技術が不安な方への講習会を開催しています。

「ナースのお仕事相談」サテライト

●ハローワーク和歌山　第2・4金曜日　13:30～15:30
予約電話番号　073-483-0234・073-483-1005
(和歌山県ナースセンターまで)

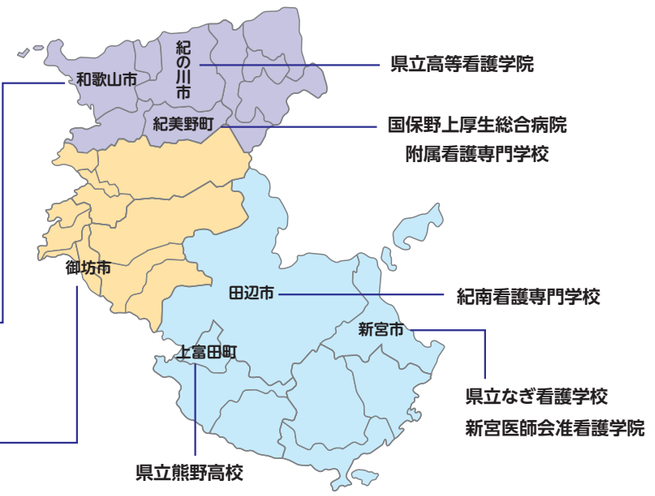
●ハローワーク田辺　第2・4火曜日　13:30～15:30
予約電話番号　0739-22-2626
(ハローワーク田辺　職業相談部門まで)

経験豊かな復職コーディネーターと和歌山県ナースセンターの職員が対応させていただきます。

和歌山県内の看護職員等養成所

(平成30年3月現在)

和歌山県計		13	500人
看護師	大学	1	80人
	専門学校	8	330人
	高校	1	40人
准看護師	専門学校	1	30人
助産師	大学	1	10人
	専門学校	1	10人



看護師の養成

東京医療保健大学 和歌山看護学部

平成30年4月開学

日本赤十字社和歌山医療センターと連携し、「地学・地就」をモットーに「人・地域」を支える看護職を養成することを目的に看護学部を開学します。

育成する人材像

●地域社会からのニーズに応え、未来の医療に貢献できる看護職

定　　員:収容定員360人(入学定員90人)
修業年限:4年
[看護師・保健師(選択制)国家試験受験資格有]
[養護教諭1種免許有(選択制)]